

平成30年度九州大学法科大学院入学者選抜試験  
試験問題

# 論文試験

(注意事項)

- 一 本試験問題は指示があるまで開かないこと。
- 二 本試験問題は（この表紙と白紙を除き）8頁、解答紙は4枚である。「始め」の合図があったら、それぞれ確認し、解答紙のすべてに受験番号を記入すること。
- 三 解答文は横書きとし、所定の解答欄に記入すること。
- 四 論文試験の筆記具は、B又はHBの鉛筆又はシャープペンシルを使用することとし、それに従わない答案は無効とする。
- 五 ラインマーカー及び色鉛筆の使用は、問題検討のために、問題用紙及び答案構成用の下書き用紙に限り許可する。

次の文章をよく読んで、問い（１）～（４）に答えなさい。

【出典】三木清「哲学ノート」（中公文庫版－2010年出版・初出は1937年）

〔注記〕なお、問題の作成にあたり、原典の文章を一部加工している。

問（１）下線部①について、著者は、「ウェーベルの責任倫理と心情倫理との区別は…そのいずれも一面的…である」としているが、責任倫理と心情倫理のそれぞれの観点について著者が指摘する問題点を挙げよ。

[配点：60点]

問（２）下線部②について、「人間の行為は…自己形成的である」とはどういう意味かについて350字程度で説明しなさい。

[配点：60点]

問い（３）下線部③について、「実践と制作を区別する」アリストテレスに対して、著者は実践も制作的行為としているが、その根拠について250字程度で説明せよ。

[配点：30点]

問（４）下線部④について、著者は、我々は環境に対して責任を負わねばならないと考えているが、これに対して600字程度で批判的に論ぜよ。

[配点：100点]